

未来のまちをつくるあなたの声

投 函 日	令和6年8月14日
投 函 者	40代 男性
投 函 方 式	メール
返信希望の有無	有
ホームページ等への掲載可否	可
【内 容】 防災放送から流れている音楽を、以前の鐘の音と、文部省唱歌や童謡のメロディに戻す案について。現在本町を離れ、県外で暮らしており、帰省の度に「ふるさとの鐘」の定時メロディを耳にするたび、江府町に帰ってきたことを実感していました。ところが最近鐘の音ではなく、別のメロディが流れていました。この鐘は私が小学生の頃、当時の町おこしの一環で、チロル風のモニュメントの一つとして建てられたと記憶しています。朝夕季節に合わせた文部省唱歌や童謡が流れ、子どもの頃から親しんでいました。大人になり本町を離れた際も、故郷の懐かしい思い出の1つとして、また幅広い世代に愛される文部省唱歌の魅力を伝えるものとして、奥大山チロルの里江府町のシンボルとして、是非郷愁を誘う心地よい鐘の音を復活してほしいと思います。騒音の苦情や管理維持費等、様々な課題もあるとは思いますが、江府町の美しい自然とマッチし、文部省唱歌や音楽を愛好する町民の心情を育む町のシンボルとしての意義について再考していただきたいと思います。音楽科教員としての一意見です。 【回答】 定刻をお知らせするメロディーチャイムに対し、ご意見をいただきましてありがとうございます。 メロディーチャイムについて、30年以上使用していた音源データの劣化が著しく、以前より音質の低下（騒音）に対し、指摘をいただいております。 指摘に対し、当初の取組みとして、30年以上ものあいだ、町民の皆様に親しまれていた音源の復旧を試みましたが、調復旧が難しいという結果に至り、新たな音源の確保が必要となることが分かりました。 このことから本町では、メロディーチャイムに関する課題解決、リニューアル後の新たな音源の選曲について、議会からの意見聴取、全町民を対象とした選曲のためのコンサート	

やアンケート調査等を実施しました。

現在は、それらの調査結果を参考とし、メロディーチャイムをリニューアルしているところです。

以上の経緯により、メロディーチャイムを変更しておりますが、お問い合わせいただいたとおり、従前のメロディーチャイムに対する想いや声は、その他にも寄せられているという事実もあります。

当町としてもメロディーチャイムについては、今後も、町民のみなさまのご意見をいただきながら継続的に協議を行っていきたいと考えます。